

(学年) 第3学年, (教科・科目) 公民科・時事教養

一斉学習

(単元)「時事教養」について

(本時のねらい)

公民科の学校設定科目「時事教養」の学習内容や学習方法について理解させるとともに、ニュースを見て調べ、考え、表現することの意義に気づかせる。

(ICT活用方法)

「時事教養」の学習方法や学習の意義等を説明するために、授業支援クラウドアプリを用いて資料を電子黒板に投影して説明する。通信制課程における従来の面接指導ではプリントを配布して説明していたが、電子黒板に注目させて説明をすることにより、生徒が理解しやすくなるようにする。また、生徒には資料のコピーを配布するとともに、授業支援クラウドアプリの共有ボックスに資料を配信することにより、どの生徒もいつでも資料を見ることができるようにする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・電子黒板を見ながら説明を聞き、「時事教養」のねらいと学習内容を理解する。	・「時事問題」と「教養」の意味を科目のねらいや学習内容と関連づけて説明する。	・授業支援クラウドアプリを使用し電子黒板に資料を表示してキーワードを確認させる。
展開 40分	・「時事教養」の学習方法について理解する。 ・表や図を見ながら説明を聞き、選挙がどのように行われるかについて理解する。	・ニュース等を見て、調べ、考え、表現できるようになるために必要な学習について説明する。 ・衆議院議員選挙を取り上げ、選挙制度について復習させる。	・授業支援クラウドアプリであらかじめ作っておいたノートを表示して説明する。 ・授業支援クラウドアプリで衆院選についてまとめた表や投票所の様子のイラストなどを表示して説明する。
まとめ 5分	・レポート学習やニュースの視聴等を通して、調べ、考え、表現することの意義について確認する。	・学習を通して調べる力や表現力を身につけ、ニュースを見て考えたことを話し合うことを勧める。	・今回使用した資料は、授業支援クラウドアプリの「時事教養」ボックスで見ることができることを伝える。

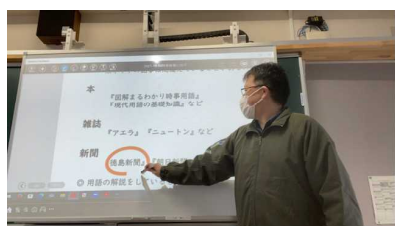
(授業の様子)

当日の面接指導には3名が出席した。事前に作っておいた資料を電子黒板に提示し、授

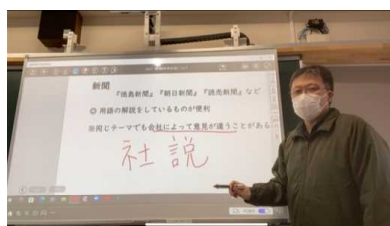
業を進めた。電子黒板がうまく動かない場合や1人1台端末の準備ができていない生徒もいることを想定して、資料を印刷して教室に持って行き、資料は生徒たちに配布した。

当日に面接指導をビデオ撮影することはできなかったため、後日あらためて模擬授業をビデオ撮影した。その際、ビデオ撮影を手伝っていただいた教員からのアドバイスをもとに、次の点で指導法を改善した。

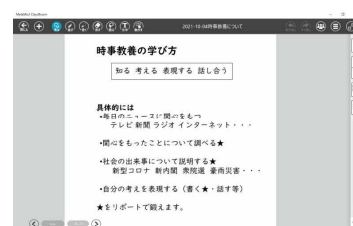
- ・電子黒板を操作しやすいように立ち位置を工夫する。電子黒板の右側に立ち、右手で電子ペンを持って電子黒板を操作すると、画面を見やすくすることができる。
- ・電子黒板に資料を提示して説明をする際、「さす」機能でキーワードを強調する。
- ・電子ペンを用いて大きな字でキーワードを書き込んで説明し、キーワードを印象づける。
- ・説明のスピードを落とし、聞き取りやすくする。



「さす」機能を使ってキーワードを強調



電子ペンでキーワードを書き込み説明



授業支援クラウドアプリで受講生に配布された資料

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒たちは集中して説明を聞いていた。後日提出されたレポートや考査で十分な学習の成果を確認することができたことから、学習の方法や意義を理解した上で学習を進めていたことが想像できる。

他の日に実施した面接指導でも電子黒板と授業支援クラウドアプリを活用して資料を提示して説明したり、映像を見せてイメージをもたせたりしたが、生徒は画面を見ながら説明を聞くので、生徒の表情をよく見ることができた。電子黒板を利用した方が生徒の様子を把握しやすいことに気づいた。

通信制課程では、限られた時数の面接指導しかないため、1回の面接指導で効果的に学習方法や学習の意義を出席した生徒に伝える工夫が必要となる。また、郵便物による添削指導の際に、授業支援クラウドアプリの共有ボックスやコラボレーションプラットフォーム等を補助的に活用することも課題となっている。

今後は、今回の模擬授業を通して修得したスキルを面接指導で活用するとともに、ICTを活用して自学自習をサポートする方策を研究し、面接指導や添削指導に取り入れていきたい。